

☆交通指導員活動状況☆

～庄原交通安全推進隊の皆さんを訪問しました。～

3月6日(金)、庄原市田原町の七塚保育所で交通安全教室が開催されました。参加者は、園児の皆さんと、庄原市役所、庄原警察署、庄原地区交通安全協会、交通安全推進隊の中村利之さん(77歳)、谷本喜彦さん(68歳)、中村一之さん(63歳)の約50名です。

最初に腹話術や手品を使って、交通安全について講義がありました。年小から年長さんまで31人の園児皆が腹話術の茶柱家順子(ちやばしらやじゅんこ)先生の話に聞き入り、また、手品に拍手を送っていました。

その後、近くの交差点で4月から新一年生になる園児に、実地指導を行いました。庄原警察署員が横断歩道の渡り方、信号の見方、飛び出しの危険などについて、園児の顔を見ながら教えておられました。信号が青になると、園児が教えられたとおりに手を挙げて、横断していました。推進隊の方々は、子供さんが横断歩道を渡るときに横断中の旗を出して見守り、渡りきった先で「よくできました。」と言葉をかけておられました。

推進隊の方々は、毎月1日、15日の交通安全日などに担当の交差点で通学時の交通指導をいらっしやいます。日頃の指導の中での感想などをお聞きしました。



「黄色の信号は止まるの意味で、進めではないのに、出勤時間帯で忙しいのか、荒い運転の人が多い。旗を振って減速を促してもなかなか聞いてもらえない。」(中村(利)さん)「車の運転をしながらスマホを操作している若い人も結構見かける。」(谷本さん)「自転車通学・通勤の人が路地からいきなり飛び出してヒヤッとするのがよくある。」(中村(一)さん)と、皆さん日頃の交通安全の大切さを語ってくださいました。



←交差点での実地指導

↓腹話術で交通安全指導



平成27年広島県交通安全年間スローガン

「思いやり

ゆとりは無事故へ

つづく道」

自転車講習制度について

～ 自転車の悪質・危険な運転者に対する講習制度が新設 ～

自転車の運転者が、信号無視や酒酔い運転など、交通に危険を及ぼす危険な行為(14項目)をして、2回以上検挙された場合、その自転車運転者に対して、安全講習の受講が義務づけられるものです。

○違反行為

- ① 信号無視
- ② 通行禁止
- ③ 歩行者用道路路徐行違反
- ④ 歩道・右側通行
- ⑤ 路側帯における歩行者妨害
- ⑥ しゃ断踏切立入り
- ⑦ 交差点の安全進行義務等
- ⑧ 交差点歩行者妨害
- ⑨ 環状交差点における進行妨害
- ⑩ 指定場所一時不停止等
- ⑪ 自転車の歩道通行の方法
- ⑫ ブレーキ不良自転車の運転禁止
- ⑬ 酒酔い運転
- ⑭ 安全運転義務違反

受講命令に違反した場合は5万円以下の罰金となります。

この講習制度は、平成27年6月1日以降の危険行為から対象となります。



春の全国交通安全運動

☆実施期間

五月十一日（月）～二十日（水）

☆運動の基本

- 「子供と高齢者の交通事故防止」
- 道路を渡る前には必ず周囲の安全を確認しましょう
- 子供と高齢者に対して、思いやりのある運転を！

☆運動の重点

- 「自転車の安全利用の推進」
- 「自転車安全利用五則」を守りましょう
- ① 自転車は、車道が原則、歩道は例外
- ② 車道は左側を通行
- ③ 歩道は歩行者が優先で、車道よりを徐行
- ④ 安全ルールを守る
- ⑤ 飲酒運転、二人乗り、並進の禁止
- ⑥ 夜間はライト点灯
- ⑦ 交差点での信号遵守と一時停止、安全確認
- ⑧ 子供はヘルメットを着用



「全ての座席のシートベルトとチャイルドシート
の正しい着用の徹底」

- どこに座っても必ず着用
- ★ 6歳未満の幼児は「チャイルドシート」を使用

「飲酒運転の根絶」

- 飲酒運転を絶対にしない・させない

運転するなら飲まない
飲んだら運転しない
・させない



運動の関連行事

行事名	日時・場所	内容
春の全国交通安全運動開始式	5月11日(月) 午後1時30分～ 県庁正面駐車場	交通対策協議会代表による交通安全宣言ののち、交通安全車両パレード出発式を行う。
交通安全キッズパレード	5月11日(月) 午後2時～ 本通り商店街	幼稚園児50名を先頭に、運動の周知等、交通安全を呼びかけるため、啓発物を配布しながらパレードを実施する。
交通事故死ゼロを目指す日	5月20日(水)	国民運動として制定され、一人ひとりが交通安全意識を高め、死亡事故0を目指す日



子供を悲惨な事故から守りましょう！

近年子供を巻き込んだ悲惨な交通事故が、全国的に社会問題化してきております。

県内でも、福山市や東広島市で通学途中の児童が事故に遭うなど深刻な状況にあります。

本県の子供の交通事故の実態(平成26年)

- 登下校中の事故が多い。
- 学校から帰宅後の夕方が最も多い。
- 出合頭が多い。
- 自転車乗車中が最も多い。



安全確認の徹底を

■ 繰り返し教えてください。
道路には危険がいっぱい！

★ 具体的に「なぜ危ないのか」どう注意したら良いかを教えましょう。

★ 実際利用する道路で歩道の歩き方や横断の仕方を教えながら、同時に歩行者とは違う動きをする車やバイクについても教えましょう。

★ 飛び出しや、信号無視、安全確認不足などの交通ルール違反は、重なる事故を招く恐れがあることを、繰り返し、教えましょう。



■ 危険と思われる箇所は、学校や最寄の警察署などに連絡してください。

お知らせ 飲食店を対象に「飲酒運転根絶宣言店」を募集中です。詳しくは県民活動課まで(082-513-2723)

平成26年の事故件数484件のうち、

- 登下校中 152件(31.4%)
- 時間帯別: 16時～18時 197件(40.7%)
- 当事者別: 自転車 294件(60.7%)
- 事故類型別: 出合頭 211件(43.6%)

※ 「子供」とは、中学生以下
※ 発生件数484件(前年比117件減)、死者数3人(前年比2人増)、負傷者1,067人(前年比240人減)